

No	資料名	頁・行等詳細	仕様書の該当記載内容	分類 (意見/ 質問)	意見/質問内容	意見/質問の理由	回答案
1	本体 業務説明資料	第1 基本事項 6 支払条件・契約スキーム	(2)支払期間は、本業務システムの稼働から120月後までの間とする。	質問	契約の総額は、60ヶ月後の基盤更改時のシステム再構築費用を含めた内容になるでしょうか。 また、本費用に保守・運用費用も含まれるでしょうか。	60ヶ月（5年）後に利用するブラウザ等のミドルウェアが確定できない状況であり、構築費用を精緻には見積もることができないため。 保守運用における非常作業の実施工数が確定しては、費用を算出するのが困難なため。	「60ヶ月後の基盤更改時のシステム再構築費用」及び「保守・運用費用」は含まれません。
2	本体 業務説明資料	第7 納品物	(3)詳細設計、実装、テスト ア 詳細設計書 イ データベース設計書	意見	パッケージを利用する場合のパッケージの設計書は除く の追記を検討いただきたい。	パッケージの詳細設計書については納品物としない運用を実施しているため。	『パッケージを利用する場合のパッケージの設計書について、カスタマイズを実施しない、標準機能の詳細設計書は、発注者が保守・運用に必要とするケースもあるため、発注者と協議の上で提供個所を決定すること。』『カスタマイズが発生した機能』、「追加開発を行った機能」及び「他システムとの連携機能」は、納品対象とする。』という旨の文言を追加します。
3	本体 業務説明資料	P2 7 主な関係者	下記事業者と協議し、合意を得ること。	質問	プロジェクト管理受託事業者との協議に関して、本仕様書に記載されているプロジェクトマネジメントの要求事項に関して、協議合意すると考えてよろしいでしょうか。		貸出資料として、要求事項のベースラインとなる各種方針書があります。プロジェクト管理については、各方針書を原則とし、発注者と協議のうえで、承認を得ることを条件とします。
4	本体 業務説明資料	P2 7 主な関係者	下記事業者と協議し、合意を得ること。	質問	新財務構築業者様、歳入業務主管課様との合意は、データ連携・移行について必要な協議を行い、議事録を取り交わしお互い承諾するという形でよろしいでしょうか。		連携仕様の調整や移行仕様の調整については、いただいた意見の内容でかまいません。より効率的な進め方があれば、ご提案ください。 加えて、データ連携や移行は、全体システムテストや全体移行リハーサルの調整等をするタスクフォース会議を開催予定です。それらに参加が必要となります。
5	本体 業務説明資料	P2 7 主な関係者	下記事業者と協議し、合意を得ること。	質問	IaaS事業者様、ICT基盤管理課様、住民情報システム課様とは、ネットワーク、サーバ等インフラに関して必要な協議を行い、議事録を取り交わしお互い承諾するという形でよろしいでしょうか。		頂いた意見の内容でもかまいませんが、より効率的な進め方があれば、ご提案ください。
6	本体 業務説明資料	P10 4 (4) サーバ環境	「番号利用事務を伴わない環境」から「番号利用事務系の環境」へのデータ連携	質問	・データ連携させることの目的を教えてください。 ・連携項目、頻度、手段の想定があれば教えてください。		データ連携の目的は、「市全体の集計を行う」ことです。 連携項目、頻度、手段については、契約後の要件定義・設計の中で決定しますが、頻度については現段階では月次程度を想定しています。
7	本体 業務説明資料	P11 4(4) 番号利用事務を扱わない環境上への構築	「本番環境用のIaaS環境は令和5年7月の提供を予定している」	意見	個人情報を含むデータでのテストは貴庁内でのみ行いますので、IaaS環境構築前のテスト用機材を貴庁内に持ち込ませていただく事を考えております。		庁内での機器設置及び作業については、一定の制約があるため、テスト内容、機器の種類・数量等、作業内容、作業期間等を踏まえ、可能な範囲を契約後に調整することになります。
8	本体 業務説明資料	P16 4(1)環境設計留意点	マルチAZによる冗長構成とすること	質問	「マルチAZによる冗長構成」とはシステム側には、どの様な構築を要求するものでしょうか。		1つのデータセンタに依存しないシステム構成を要求します。 クラウド事業者(AmazonやMicrosoftなど)のデータセンタにおいて障害が発生した場合でも、クラウド事業者による復旧作業を待つことなく、本市側で別のデータセンタに切り替えることで稼働できるように、耐障害性を高くする目的でマルチAZによる冗長構成としているためです。 例えば、AZ1にWEBサーバ、APサーバ及びDBサーバが置かれていて、AZ2にはWEBサーバ及びAPサーバのみ置かれていて、AZ2のAPサーバがAZ1のDBサーバを参照するような構成にすることはできません。AZ1で障害が発生した場合にDBサーバがなくなり、クラウド事業者による復旧作業を待つことになってしまいますためです。 したがって、この場合は、AZ2にもDBサーバを置き、AZ1とAZ2のDBサーバをレプリケーション設定することで、AZ1において障害が発生した際にフェイルオーバーできる構成としてください。 加えて、ミッションクリティカルな業務とそうでない業務でサブシステム化し、それぞれActive-Active構成(リソース小)とActive-Standby(コールドスタンバイ)構成に分けるなど、業務要件と運用コストを考慮した設計も期待します。
9	本体 業務説明資料	P16 4(1)環境設計留意点	Active-Standby構成の待機系	質問	「Active-Standby構成の待機系」環境への要求仕様はどのような内容でしょうか。		要求仕様は「別紙4 システム非機能要件一覧」のうち、可用性の非機能要件を満たすことです。 なお、業務の遂行に必要な場合は、Active-Standby構成ではなく、Active-Active構成の場合もあります。業務要件と運用コストも考慮した、最適な構成を期待します。

No	資料名	頁・行等詳細	仕様書の該当記載内容	分類 (意見/ 質問)	意見/質問内容	意見/質問の理由	回答案
10	本体 業務説明資料	P16 4(1)環境設計留意点	サーバーインスタンスは原則としてプライベートネットワークに配置し	質問	サーバーインスタンス=サーバを載せる仮想OS、プライベートネットワーク=サーバセグメントとの意味でしょうか。		異なります。次の内容を意図しています。 サーバーインスタンスとは、OSではなく仮想マシンです。 サーバセグメントを「サーバーインスタンスを配置するネットワーク」と定義した場合、サーバセグメントは「パブリックネットワークとプライベートネットワーク」となります。 パブリックネットワークとプライベートネットワークは以下のように考えてください。 ・パブリックネットワーク=クライアントマシンからアクセスできるネットワーク ・プライベートネットワーク=クライアントマシンからアクセスできないネットワーク (システム内のサーバーインスタンスからしかアクセスできないネットワーク) 例えば、三階層システム(Webサーバ、APサーバ及びDBサーバから構成されるシステム)の場合、Webサーバをパブリックネットワークに置き、APサーバ及びDBサーバはプライベートネットワークに置くことで、クライアントマシンはWebサーバにのみアクセス可能で、APサーバ及びDBサーバにはアクセス不可能とする、セキュリティを考慮したネットワークの設定を行っていただくことになります。
11	本体 業務説明資料	P25 第6 2(2)作業量の上限	本業務の期間で○人月程度の工数且つ各月のおおよその業務量	質問	どの程度の量の作業を想定されていますでしょうか。		契約後に調整します。 また、記載内容に「契約後に調整する」旨を追記します。
12	本体 業務説明資料	P26 第6 6他業務との連絡調整	議事録として記録し、2開庁日以内に	意見	作成後、先方のレビューを経て市に提示する為、2営業日では対応が難しいと考えます。少なくとも5営業日は必要だと考えます。		5開庁日に変更します。
13	別紙4 帳票一覧及び帳票サンプル	1	運用時間	質問	(7時～21時)の時間指定は、オンラインのみで運用処理はこの時間外での実施も可能と考えてよろしいでしょうか。		相違ありません。
14	別紙4 帳票一覧及び帳票サンプル	4	アーカイブ	意見	弊社は直近バックアップからの復旧は可能ですが、アーカイブからの復旧はできません。		契約後の運用設計の中で運用上問題のない内容となるように調整します。
15	別紙4 帳票一覧及び帳票サンプル	9	仮想スイッチ、Active-Standby、ロードバランサ	質問	冗長性を確保する為の手段について、IaaS側の機器構成での考慮はありますでしょうか。そうでなければ全てソフトウェアでの対応が必要なのでしょうか。		クラウド事業者(AmazonやMicrosoftなど)が提供しているサービスを利用して冗長構成を実現する想定です。当該サービスで実現できない構成とする場合は、ソフトウェアなどでの対応が別途必要となります。ただし、この場合は、発注者と協議のうえで、承認を得ることを条件とします。
16	別紙4 帳票一覧及び帳票サンプル	27、28	監視情報、監視監視	意見	弊社では監視業務は請け負っておりません。IaaSの運用者若しくは財務システム全体の運用者に監視を委託できませんでしょうか。		契約後の運用設計の中で実施可能な内容となるよう調整します。
17	別紙4 帳票一覧及び帳票サンプル	35	障害検知通知時間	意見	上記の通り、弊社は監視業務は行っていませんので、検知から30分での報告の実施は難しいと考えます。ハード障害はハード監視者、ソフト障害がシステム画面上で分かりますので、障害ご連絡をいただいで30分以内に第一報を入れる等であれば対応可能です。(土日休日等除く)		契約後の運用設計の中で実施可能な内容となるよう調整します。